

# とびた茂事務所びらき一盛大に



力強く決意表明する とびた氏



# 大東民報

## 議会版

日本共産党  
大東市議会議員団  
大東市谷川1丁目1-1  
TEL 072-871-5588

教え子が南中ソーランを披露



四日(日)、朝十時か  
ら氷野一丁目の事務所  
前で事務所びらきが行  
われました。  
豊芦議員の司会で始  
まり、飛田氏の教え子  
による太鼓と南中ソー  
ラン節の踊り、唐沢後  
援会長の挨拶に続いて  
とびた氏が力強く決意  
を表明しました。  
とびた氏は、大型開  
発で水源が枯れてし

まった箕面の滝を現地視察  
した経験を踏まえ開発優先  
の府政をリアルに告発。  
一方、府民には黒田革新  
府政がつくった府立高校や  
保健所をなくしてしまう冷  
たさも指摘。「皆さんの御  
支援で何としても府政の場  
に送り出してほしい」と結  
びました。  
児童保育所時代の保護者  
もかけつけ、激励の挨拶を  
いただきました。

## 本会議はじまるー千秋議員が代表質問



四日、日曜議会が開催  
され、四会派代表による  
市長の施政方針に  
たいする「代表質  
問」が行われまし  
た。  
日本共産党から  
は千秋議員が質問  
に立ちました。

また恒例の議場講演は、  
今回、障害者通所授産施設  
「ハートフル大東」の白川  
広子さんが支援費制度から  
自立支援法に変わって負担  
が増え、大変な状況に置か  
れている実態をリアルに紹  
介されました。



・090-8939-5743

市会議員  
ちあき昌弘  
まさひろ



・090-3864-5037

市会議員  
こびさき勉  
つとむ



・090-1079-8939

市会議員  
とよあし勝子  
かつこ

### 法律相談

4月2日(月)  
夜 7時  
市民会館  
予約制です  
TEL 871-5588 まで

# 旧同和施策の完全終結を

## 共産党代表質問に千秋市議立つ

### 市長・毅然とし た姿勢を示さず

### 退職金の支払いは止 めにせよ

### 市長：支払うが慎重 に行なう

市長は施政方針冒頭で勤務実態のない職員の件で謝罪をされていますが、職員が辞めたから解決したという問題ではない。民主主義の根幹に関わる問題であり、市民の要求には財政難といひ一方では不正受給を行なうのでは市民は到底納得できません。市民にきちんと知らせ、説明の出来る解決を求め。また、今回の事件は真の部落問題の解決にも逆行します。今後の市政運営にも重大なかわりを持つ課題であり、過去の同和行政のウミを出し切って、抜本的解決

大阪市では新年度予算案で30事業39億円の廃止を決めている。

「法」が収束し5年を経過した今、特別な行政はもういらない。

東大阪市では07年度予算案に旧同和行政関連事業について「法・条例や公正・公平の観点から、特別の優遇措置となっていないか」「各市で旧同和施策をめぐる不正事件もあり、今日的な市民批判の高まりの中で緊急に是正が必要なもの」として見直しを行なう中、約1億9千万円の予算を削減しています。そして、引き続き同和関連事業の総点検を進め「市民に情報を公開すると共に、不正や利権に對しては毅然とした態度で臨み、公正・公平で効果的な事業に改める」としている。

また2月26日朝日新聞夕刊によれば、「人権教育企画室廃止へ」大阪府教委：同和教育を再検討。という見出しで、大阪府教委は学校での同和教育や人権教育を担ってきた「人権教育企画室」を今年度限りで廃止を決定した。

## 職員早期退職で 浮いた財源を福 祉・くらしなど ソフト面にまわ せ

しはますます大変です。国の悪政の防波堤となって市民を守るのが地方自治の仕事だ。

①施政方針で「更新期」という言葉が使わハード面の充実をしていますが、福祉向上などソフトでは影が薄い内容となっています。ソフト面の充実どのようにしていくのか

②財政運営を強調し民営化がどんどん進められるが保育にしろ教育にしろ子どもたちが主役におられないままです。財政が主役ではありません。同様に市政全般も市民が主役におられないままです。経済効率、財政効率が主役ではありません。市民を主役、主人公にした市政に転換すべきではありませんがどのように考えているのか

③H19年度予算について福祉関係予算が昨比で減されているものが目立ちます。団塊世代の予想以上の早期退職者によって生まれる財源を、これら市民のソフト面充実にあわすべきと考えますがどうか。

④生活保護の申請権を確保すべきと考えますがどうか

⑤医療を受ける権利を守るようにすべきと考えますがどうかでしょうか

⑥障害者自立支援法や介護保険料・利用料の独自減免を実施すべきと考えますがどうか

⑦入札制度については、談合をなくすと同時に、低入札においても公契約条例を制定し、建設労働者への適正な賃金・労働条件の確保や、下請け業者の最低を保障し、工事の質の確保をすべきであると考えますがどうか

### 市長「福祉・くらしに熱意示さず

市長(答) 浮いた財源はサービストップないよう計画的に使う  
介護・自立支援法など市独自減免すると被保険者の負担が増えるのでしない。

### 市長・従来答弁と変 らない内容を繰返す。 旧同和行政解決の姿 勢見えず

②人権推進部・人権教育室の廃止をできないか  
③「解同」「同和会」との市5役そろつての交渉出席を廃止できないか  
④「ヒューネットだいたい」の職員の給与分を減額したのは当然だが、退職金は払うべきではないと考えるがどうか

3月2日〜3日にかけて、衆議院で18年ぶりの与党の暴挙により、貧困拡大予算採決を強行しました。これは野党の合意のないまま予算委員長の職権で委員会を開き、野党が抗議すると数の力で一方的に質疑を打ち切って討論もやらせず採決するという強引なやりかたでした。さらに深夜、国民の寝ている間に本会議を開き、3日朝未明に採決するという異常な予算成立です。

これにより、定率減税廃止による1・7兆円の庶民増税、生活保護の母子加算の段階的廃止、雇用対策費の半減など、貧困問題を一層深刻にする予算となりました。社会不安の増大、貧困と格差の増大で市民のくらしはますます大変です。